

橋の色を
塗り替えるんだけど、
この色でいい？

景観、景観と言うけど、
景観って何？
勉強会を開きたいけど、
講師はどうしよう？

市町職員及び景観形成活動団体の皆様へ

景観のことなら おまかせください！

無料

随時申込
可能

市町の皆様が進めるまちづくり（公共施設の設計・施工や景観計画の策定等）を、景観形成の視点から支援するため、皆様からの申込に応じて、景観、まちづくり等の専門家をアドバイザーとして派遣します。

申込ができる方	①静岡県内の市町（政令指定都市は除く） ②景観形成活動団体（活動所在地が政令指定都市を除く市町）
費用等	派遣に要する費用のうち、アドバイザーの旅費、報償費を県が負担します。 現地での会場の手配、備品の用意（配布資料、パソコン、プロジェクター等）、最寄駅からのアドバイザーの送迎等は申込者にて対応してください。
対象事業 （ ）内は県が負担する報償費	市町または景観形成活動団体を実施する次のもの (1) 公共施設等の構想・検討（5,250円/時間） (2) 公共施設等の設計・色彩・デザイン等の検討（36,600円/日） (3) 景観に関連する計画の検討（5,250円/時間） (4) 景観形成の啓発に係る講演（28,000円/時間） (5) その他良好な景観形成に資する取組（5,250円/時間）
アドバイザー	名簿に登録されている景観、まちづくり、観光、教育等の専門家35名（5頁参照）
申込方法	①申込者が名簿の中から選択し、県に申請（3頁参照） ②景観形成活動団体の場合、活動所在地の市町に提案

【対象事業のイメージ】

(1・2)公共施設等の色彩・デザイン等の検討

道路や河川、建築物等の色彩・デザインに関する助言
公共の看板、標識に関する助言 など



(3)景観に関する計画の検討

景観計画の策定に関する助言
観光地エリア景観計画の策定に関する助言 など



(4)景観形成の啓発に関する講演

市民、事業者向けの講演会の講師
公共事業担当職員向けの勉強会の講師 など



(5)その他良好な景観形成に資する取組

まちあるきなどの現地調査に関する助言
教育、観光、環境等と連携した取組に関する助言 など



アドバイスを受けた市町担当者の声



日常を
見る目が
変わった！

色をただ基準
して考えるだけでなく、
その文化性を考慮した
自然色を基準色に、動く色を
取り入れて個性あるマチ
を考えていきたい
と思った。

絵は書いて良いことはない。
擬木はよくない。

一人で悩まず
まずやってみる事が
(アドバイザーに相談)
大事だと思いました。



景観は、
その場所の
風景を生かすことや
調和を考えることが
大切なんだ！

景観を表すのに色彩
(色相、明度、彩度) で表すことが
出来ると初めて耳にして
良い勉強になりました。



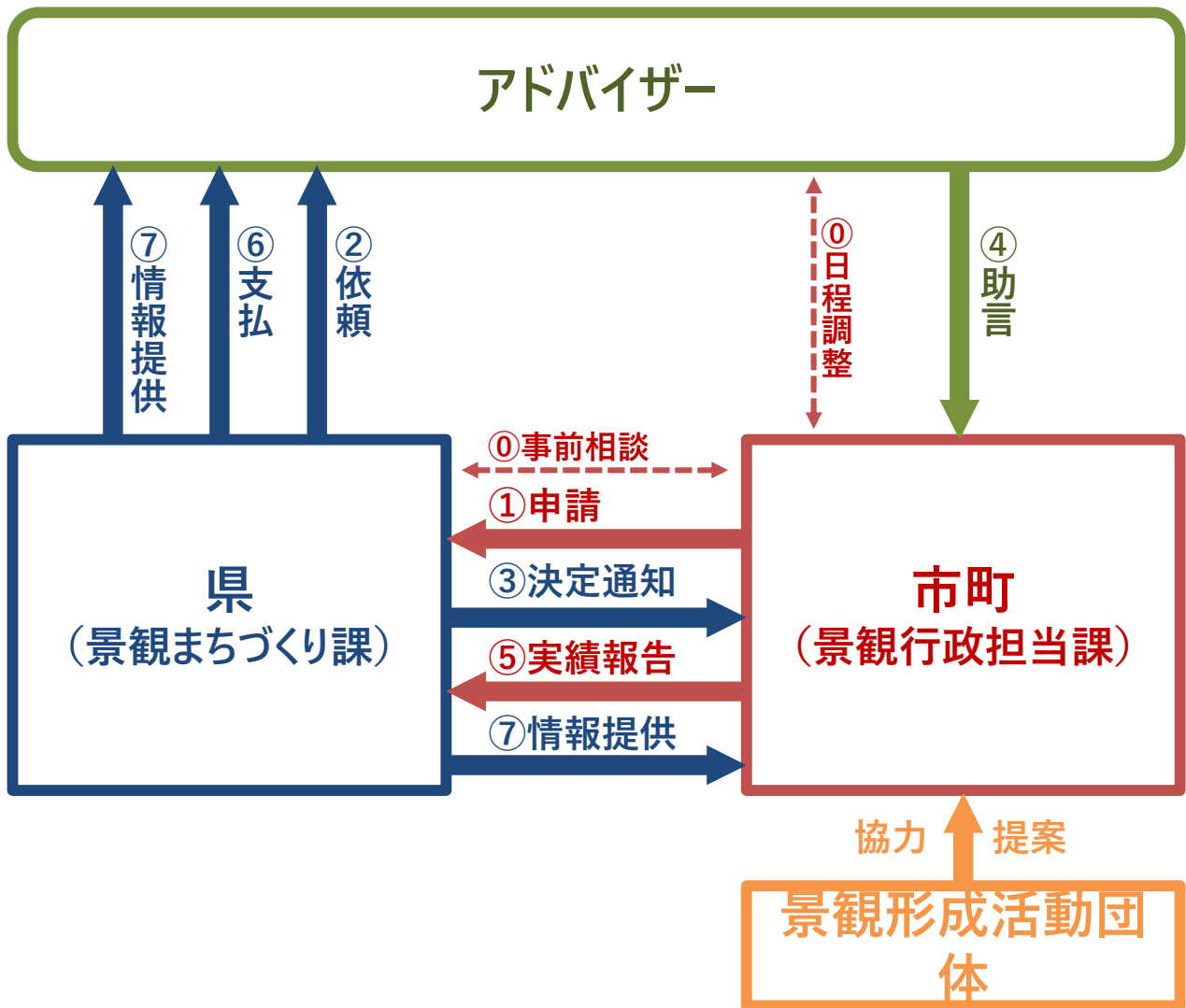
地域の特産物などを
形にしたがるが、
景観になじまず、
飽きがくる。

他もそうだからいいか…
と思ったのですが、
一步下がって、考えて
変なものは変だと気づく
べきだと思いました。

景観、道路、商工の各担当が
景観に対する共通認識を
持つことが大切
だと思った。



【手続概要図】



市町 ①県との事前相談、①アドバイザーとの日程調整

市町 ①県に申請書を提出

県 ②アドバイザーに依頼、③市町に派遣決定を通知

アドバイザー ④アドバイザーによる助言の実施

市町 ⑤県に実績を報告

県 ⑥アドバイザーに報償・旅費を支払

⑦アドバイザー、市町に情報提供（年度実績をとりまとめて年1回程度）

7日以内

概ね
2週間前まで



Q. 申し込みたいのですが、どうすればいいですか？

A. まずは、申込み先担当者（裏表紙参照）に御連絡ください。
手続方法を御案内するとともに、申請書類やアドバイザー名簿などの電子データをお送りします。

Q. 申込期限はありますか？

A. 期限は定めていませんが、実施日の概ね2週間前までにはお申込みください。
なお、年度の途中であっても、予算に達した時点で終了となりますので、御了承ください。

Q. 派遣は1事業当たり1回限りですか？

A. 対象事業の内容により、複数回の派遣が可能ですので、御相談ください。
ただし、景観審議会の委員や既存の有識者会議の委員等、継続的にアドバイスを行うものは対象外となります。

Q. 1回に派遣されるアドバイザーは1名だけですか？

A. 対象事業の内容により、一度に複数名の派遣が可能ですので、御相談ください。

Q. 申込者がアドバイザーを選択することになっていますが、どのアドバイザーを選べば良いのかわかりません。

A. 御相談いただければ、アドバイスの対象内容に合ったアドバイザーを御紹介いたします。
お気軽に御相談ください。

Q. アドバイスには全て対応しないといけませんか？
予算やスケジュールの都合上、全ては対応できそうにありません。

A. アドバイスには全て対応しなければいけないわけではありませんが、皆様のまちをより良くするためのアドバイスなので、できるだけ対応してください。
また、アドバイザーは予算やその他の与条件を考慮してアドバイスしますので、皆様の状況をできるだけ詳しくアドバイザーにお伝えください。

Q. 完成検査を受けなければいけませんか？

A. 県費補助事業ではありませんので、完成検査はありません。
実績報告書の提出のほかに、アンケートの回答や（仮称）年度報告レポートの作成などに御協力をお願いします。

アドバイザー名簿

景観・まちづくり

氏名	所属・役職	専門分野	備考
天野 光一	日本大学名誉教授	景観	※
伊藤 光造	特定非営利活動法人くらしまち継承機構理事長	景観、まちづくり	※
金田 享子	公益社団法人日本サインデザイン協会専務理事	サインデザイン	
川口 宗敏	静岡文化芸術大学名誉教授	都市デザイン	
齋藤 潮	東京工業大学（現、東京科学大学）名誉教授	景観	
西森 陸雄	工学院大学建築学部教授	建築	
伊藤 登	一般社団法人パブリックデザインコンソーシアム理事長	景観	※
岡田 智秀	日本大学理工学部教授	景観	※
加藤 幸枝	有限会社クリマ代表取締役	色彩計画	※
吉田 慎悟	有限会社クリマ取締役	色彩計画	※
荒井 歩	東京農業大学地域環境科学部教授	造園、景観	
磯村 克郎	名古屋葵大学教授	公共デザイン	
亀井 暁子	静岡文化芸術大学デザイン学部教授	建築	
川口 良子	合同会社デザイン・アープ代表社員	地域計画、建築	
寒竹 伸一	静岡文化芸術大学名誉教授	建築、都市計画	
塩見 寛	Kei_まちづくりネットワーク代表	まちづくり	
清水 裕子	大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員	まちづくり	
高木 敦子	有限会社アムズ環境デザイン研究所代表取締役 特定非営利活動法人地域づくりサポートネット副代表理事	地域づくり	
田中 孝治	一般社団法人互産互生オープン・ベース代表理事	地域づくり	
土屋 和男	常葉大学造形学部教授	建築	
東 恵子	東海大学名誉教授	デザイン、色彩、まちづくり	
福井 恒明	法政大学デザイン工学部教授	土木デザイン、景観	
山内 秀彦	特定非営利活動法人地域づくりサポートネット代表理事	都市計画、環境	
木下 勇	千葉大学名誉教授	都市計画、まちづくり	

アドバイザー名簿

観光・教育等

氏名	所属・役職	専門分野	備考
渡邊 靖乃	三島市社会教育委員	教育、探究学習、 地域連携	
Tony Everitt	Tourism Shizuoka Japan戦略アドバイザー	観光	
青木 辰司	東洋大学名誉教授	農村計画	
岩崎 邦彦	静岡県立大学経営情報学部教授	マーケティング	
紅林 眞実	株式会社丸紅代表取締役	緑地施工管理 地域コミュニティ再生	
佐藤 雄一	コンセプト株式会社代表取締役	観光、商品化計画	
白井 昭義	有限会社ブレインチャイルド代表	観光	
廣住 和良	株式会社ディスタンス・インターナショナル代表	広報、コミュニケーションデザイン	
堀川 知廣	静岡産業大学学長	農業政策	
山本 早苗	常葉大学社会環境学部教授	環境・社会学	
卯月 盛夫	早稲田大学名誉教授	住民参加、こどものまちづくり	

アドバイザーによるアドバイスの一例

具体的なアドバイス

コンサルタントや施工業者に素早く具体的な指示が可能

コストダウン

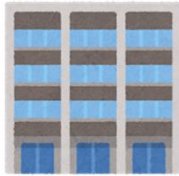
限られた予算で高品質な公共施設の建設が可能

ユーザー目線

施設利用者や施設管理者の立場を考慮したアドバイス

建築物

1棟の中で塗り分けるときの色は、色相を合わせると良い。明度差は、1.5~2程度が良い。(県営住宅の色彩検討)



計画策定

景観においては、引き算する勇気が必要だ。(観光地エリア景観計画検討)

農業用施設

青色は清潔ですがすがしいイメージを持たれるが、青は自然界にない色であり、自然景観の中では違和感がある。違和感のない色は、茶色、深緑、ベージュである。(防風ネットの色彩検討)



橋梁

車両用防護柵は、支柱がトップビームより上に出ていると格好悪くなる。トップレールの連続性や統一性を確保する製品を選定した。(付属物のデザイン検討)



水門

門扉を2重にすることや上屋の配置を工夫することで、高さを約5m下げることが可能。コストダウンにもつながる。(新設水門のデザイン検討)

カラー舗装

狭く雁行する歩道の場合、塗装の幅が変わると不自然。外側線と同じ幅で施工する。場所ごとに施工幅を変えるのは連続性を欠き、乱雑な印象を与える。(グリーンベルトの色彩検討)

施設全般

公共施設は供用年数が長いため、時間が経っても退色しづらい鮮やかさを抑えた色とする。

公園

本部棟の色彩は白球がよく見え、選手達のプレーも良く見えるような色を選定した。(野球場の色彩検討)

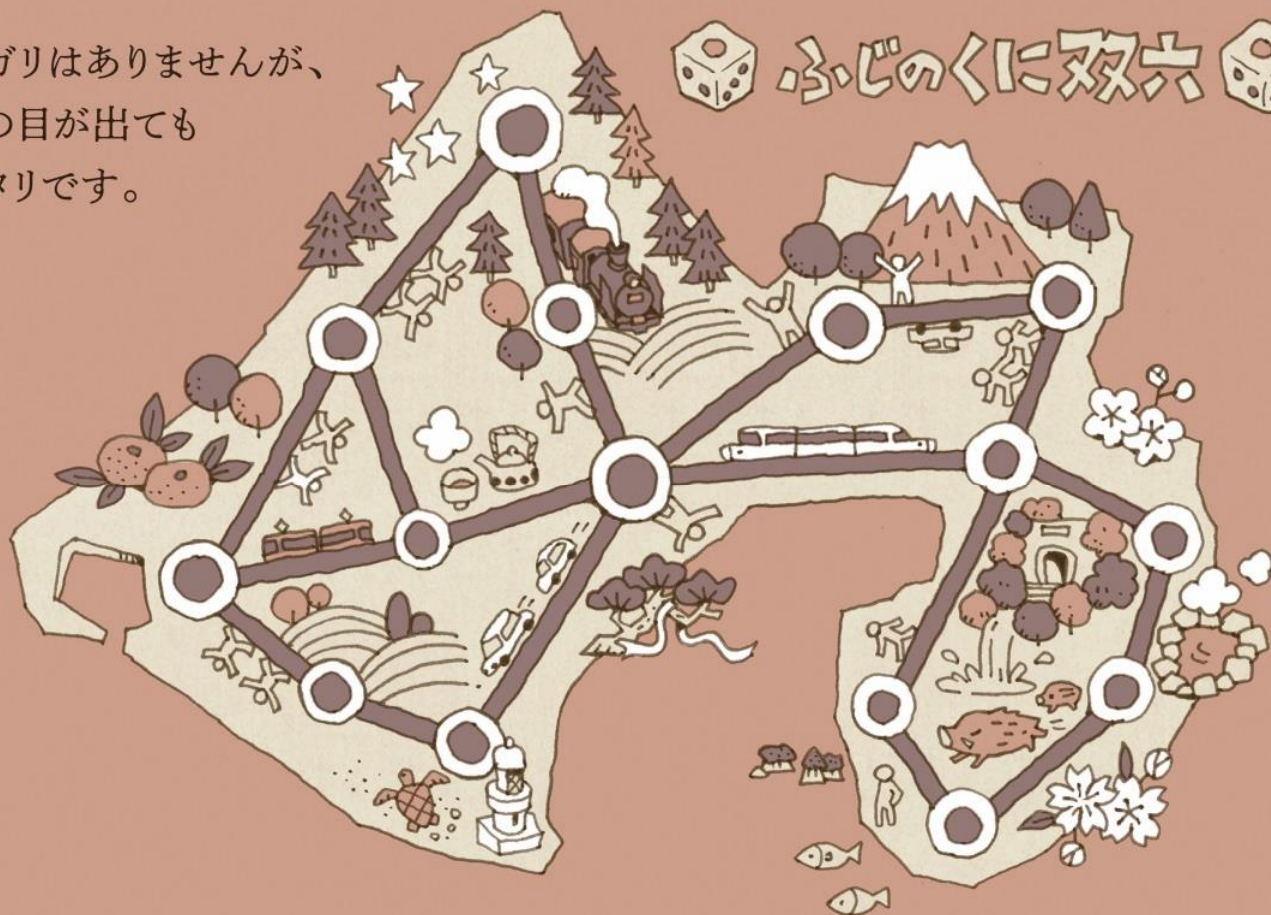


(参考) 令和7年度のアドバイザー利用実績一覧表

No.	申請市町	案件	種別	アドバイザー
1	沼津市	沼津市営住宅中尾団地の改修に伴う色彩検討	公共施設景観検討	加藤 幸枝
2	湖西市	湖西市山口地区の修景活動における講演及び助言	講演	吉田 慎悟
3	沼津市	沼津駅南口西武百貨店跡地賑わい拠点整備に伴う色彩検討	公共施設景観検討	加藤 幸枝
4	伊豆市	湯ヶ島地区の湯道整備に伴う色彩・デザイン検討	公共施設景観検討	伊藤 光造
5	富士宮市	職員向け講演会	講演	加藤 幸枝
6	伊豆市	中伊豆小学校の新築に伴う色彩検討	公共施設景観検討	伊藤 光造
7	小山町	国道138号の法面防災工事に伴うデザイン検討	公共施設景観検討	天野 光一

アガリはありませんが、
どの目が出ても
アタリです。

ふじのくに双六



答えはきっと、あなたの中に。
～ ふじのくにの景観 ～



県ホームページでも
御確認いただけます



お問合せ・お申込み先

静岡県交通基盤部都市局景観まちづくり課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話：054-221-3702

e-mail : keikan-machi@pref.shizuoka.lg.jp